

令和8年度 校内研究について

(1) 研究主題

研究主題 「学びを楽しみ、深める児童の育成」

－教科担任制を生かし、児童が自ら学ぶ授業づくり－

(2) 研究主題設定の理由

1. 学校教育目標の具現化から、本校では、

- ◎ 「よく考えて すすんで学習」 (知)
- 「人に親切 仲良く協力」 (徳)
- 「強い体 やりぬく心」 (体)

を教育目標に掲げ、日々の教育活動を行っている。本主題は、教科担任制を生かし、各教科、領域の中で「よく考えて すすんで学習」(知)を具現化し、思考力、表現力を高めようとするものである。

2. これまでの研究から

本校では長年国語の研究に取り組んできた。平成29年度から令和4年度までは、文学的文章の指導法の研究に取り組んできた。叙述をもとに、対話的な学びを工夫すること、言葉にこだわり課題設定を工夫することなど、思考力・判断力・表現力の育成を図ってきた。令和5年度は「書くこと」に焦点を当て、今までの取組を生かしながら研究を深化・発展させることができた。主題に「自分の言葉で表現する」ことについて、相手や目的に応じて、自分の思いや考えを伝えるために必要な語彙を選択し、表現することを目指し、「書くこと」に対する苦手意識を軽減し、「書くこと」への意欲をもたせることができた。

令和6・7年度は東京都教育委員会小学校教科担任制等推進校として、また令和7年度は調布市教育委員会研究指定校として研究を進めることとなった。「小学校教科担任制」が本施行されることを受け、「教科担任制」の特性を生かし、各教科の指導力を高めることができるよう、研究を進めることとした。昨年度は、「学びを深める」ことに焦点を充て、どのようにしたら、学びの質が高まるか、学びを深めるとはどういうことか、について追及し、「児童の学びの質」が向上していくよう、授業改善に努めていくことができた。

今年度も、教科担任制の充実、学びを楽しみ、学びを深める児童の育成を引き続き目指していくこととした。さらに「自ら学ぶ」授業づくりを目指し、学習の見通しをもち、自らすすんで問いや課題に取り組み、振り返り、粘り強く課題に取り組む姿を大切に育てていきたいと考えている。教科担任制のよさを生かしながら、各教科での専門性を高め、児童の学びの質の向上に努めていく。

(3) 目ざす児童像 (提案)

(国語) 「言葉を適切に捉え自分の考えをすすんで表現できる児童」

(社会科) 「自ら問いをもち、資料を活用し、根拠をもって表現できる児童」

(理科) 「既習の内容や生活経験から根拠のある予想や仮説を発想する児童」

(体育) 「運動に積極的に取り組み、互いに考えを認め、高め合う児童」

(4) 研究内容

1) 研究領域

国語・社会(生活)・理科(生活)・体育の教科に教員が分かれ、各専門の教科・領域で研究をすすめる。

2) 研究の視点

各部会で検討し、設定する。

(5) 研究の方法

- 1) 指導者が主題を明確に捉え、教材の課題設定や指導方法を工夫した授業を日々の指導の中で実践する。
- 2) 目ざす児童像やねらいを達成するための学習の取り組みを年間通して行う。
- 3) 年4回の授業研究会を開き、各分科会の取組や提案について全体で検証する。
- 4) 各分科会で研究実践の成果と課題をまとめ、3月に全体で共有する。

教育目標より

◎よく考え すすんで学習する

<滝坂小学校の児童の実態>

- ・基礎・基本的な学力は定着している。提示された課題には取り組めるが、自分なりに考えたり、工夫したりすることは少ない。
- ・失敗を嫌い、挑戦することができない。
- ・話し合うことに抵抗はないが、話し合いが深まったり、自己改善に繋がったりしにくい。
- ・学び終わった後、振り返ったり、次の課題に活かしたりする力が弱い。

<令和7年度の研究の課題より>

- ・児童の学びの質を高めるための、発問の工夫。
- ・各教科での ICT の活用の工夫。
- ・教師が、児童の考えや意見を受け止め、集約したり、まとめたりすることの難しさ。
- ・児童同士で情報を共有したり、交流したりすることで学びを深めることができていない。
- ・できない、書けない児童への指導の工夫。
- ・教師の評価の仕方
- ・児童自身が自分の学びを評価できるような取り組み

<学習指導要領の告示から>

- ・各教科等の目標及び内容が、育成すべき資質・能力の三つの柱で整理された。
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が求められた。

<教師の願い>

- ・「やってみたい」「取り組んでみたい」と主体的に学びに取り組んでほしい。
- ・失敗を恐れずに挑戦し、またそれを自己の学びに繋げていってほしい。
- ・児童が自ら学習計画を立てたり、自ら学習方法を選択したりして、学びを深めることができるような授業を作りたい。
- ・友達と対話をしながら、学びを深めていってほしい。
- ・対話したことに満足せずに、自己改善に繋げていってほしい。



「学びを楽しみ、深める児童の育成」

～教科担任制を生かし、児童が自ら学ぶ授業づくり～



国語分科会の目指す児童像

「言葉を適切に捉え

自分の考えをすすんで表現できる児童」

社会科分科会の目指す児童像

「自ら問いをもち、資料を活用し、

根拠をもって表現できる児童」

理科分科会の目指す児童像

「既習の内容や生活経験から

根拠のある予想や仮説を発想する児童」

体育分科会の目指す児童像

「運動に積極的に取り組み、

互いに考えを認め、高め合う児童」